

# 古文書を読む会学習記録

作成日 平成25年12月27日

開催日	平成25年12月26日	時 間	10:00～12:00
場 所	金沢公会堂3号室	出席人数	14名
講 師	真田雅行氏	作成者	沓掛勝利
テーマ	第二学習 秋葉山詣③		
概 要	<p><b>天保4年1月</b>（前回、九日から十一日まで読了、今回は十二日からの続き）</p> <p>十二日 天気東風から南風に、強風 秋葉山代参に出発しようとしたところ、日和が悪く、明日に延期した。</p> <p>十三日 晴 夜明けに馬喰町宿出発、源左衛門・久五郎が境木迄見送り、そこで盃をかわし別れた。 それからは連れなく一人旅、四ツ谷で昼食、大磯宿京屋升次郎方に泊る。尤、問屋帳に 人足2人だけの書付があった。</p> <p>十四日 朝雪、8時頃から晴 大磯宿を明け方出発、小田原酒匂川橋で休まず、湯元にて小休止、畑宿で休まず箱根 権現に参詣し、お関所を通り箱根宿端の江戸屋で昼食、山中の角屋に泊る。</p> <p>十五日～十七日、山中から三島・沼津・原・吉原・蒲原・由井・興津・江尻・府中・丸子・岡 部・藤枝・島田・金谷の各宿分を省略</p> <p>十八日 晴 金谷宿を出発、同宿した大垣家中他江戸浅草参宮人と同道し、日坂で休み、掛川で昼 食して別れ、宿端の秋葉山道へ行き、森村の名主から指示された うるし屋に泊る。</p> <p>十九日 晴 森村を出発、三倉市の瀬山本の御山に着き、三尺坊に泊る。此地は五拾丁が1里なの で、特別に里数延べがあり、草臥れた。尤四十八瀬川等難所があり、風景は良いのだ が、しゃれ言葉も出ない。</p> <p>廿日～廿五日、帰路の御山から大磯宿までを省略</p> <p>廿六日 雪 大磯宿を出発、藤沢宿で昼食、戸塚宿と境木で休み、神奈川宿に到着し、道連の一人 を新羽屋へ案内した。家内一同無事で特に変わった事も無かった。宿に帰り、お祝い申 し上げた。</p>		
補助資料	江戸時代の①油仕法(あぶらしほう)②絞油業(しぼりあぶらぎょう) ③油寄所(あぶらよせどころ)の解説—山根美智子さん提供		
備 考	特になし		
次回予定	平成26年1月9日 10:00～12:00	於:	金沢公会堂3号室 第一学習 宿村布川家文書①